

## モンゴル

### 主要データ

国名〔英名〕	モンゴル [Mongolia]
面積 (km <sup>2</sup> )	1,564,116
海岸線延長 (km)	0
人口 (百万人)	3.3
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	2.1
GDP (bUS 米ドル)	15.1
一人当り GDP (US 米ドル)	4,575.76
主要鉱産物：鉱石	銅、モリブデン、金、螢石
主要鉱産物：地金	銅
鉱業管轄官庁	鉱物資源庁、原子力庁
鉱業関連政府機関	鉱業・重工業省、国家専門検査庁
鉱業法	鉱物資源法、原子力エネルギー法、一般鉱物資源法
ロイヤルティ	国内販売 燃料炭及び一般鉱物については販売価額の2.5%、その他の鉱物は5%。 海外輸出 輸出額の5%+国際市場価格及び製品加工度に応じた率
外資法	投資法（2013年10月3日）、投資基金法（2013年10月3日）
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	・環境保護法（環境影響調査制度、環境基準有り） ・水資源保護地域・森林地帯における鉱物資源の探査・利用の禁止に関する法律
鉱業公社	Erdenes MGL、Erdenes Oyu Tolgoi、Erdenes Tavan Tolgoi、Erdenet（モンゴル政府100%）、Erdenes Steel（モンゴル50%、Beren Group50%）、Erdenes Silver Resources（モンゴル政府100%）、MongolRosstsevtment（モンゴル政府100%）、Mon-atom（放射性鉱物資源を管轄）
鉱業活動中の民間企業	Ivanhoe、Rio Tinto、Areva、Cincora Copper、Xanadu Mines

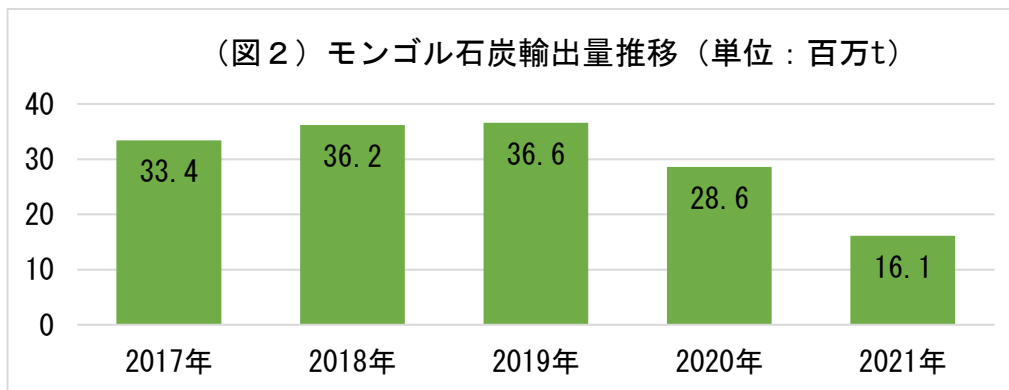
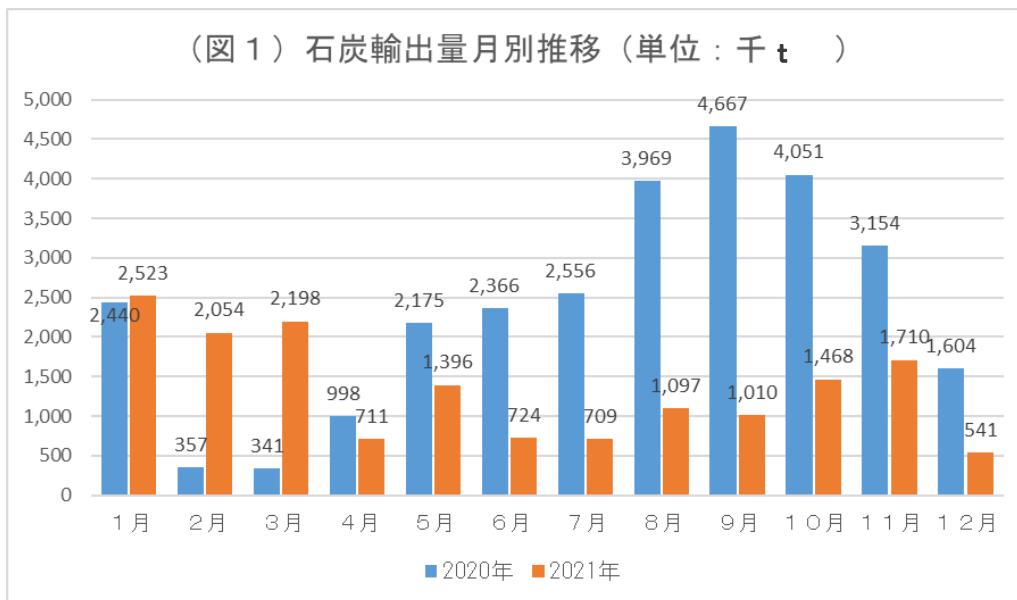
### 1. 鉱業一般のトピックス

モンゴルは鉱物資源に富む国であり、主要鉱物には石炭、銅、ウラン、螢石などがある。また、モリブデン（生産量：世界第10位（0.7%）、埋蔵量：世界第7位（1.5%））、タングステン等のレアメタルのポテンシャルもある。鉱業はモンゴルの基幹産業の1つであり、GDPの2.5割、工業生産の6割、輸出の8割を占める。

新型コロナウイルスの感染拡大は、国境付近での防疫管理等が依然石炭貿易に影響を与えている。一方で、2022年9月、タバントルゴイ炭鉱から中国国境までの輸送用鉄道が開通するなど石炭輸出能力の増強が図られている。

(1) 新型コロナ防疫管理が石炭貿易に依然大きな影響を与えている

2021年の石炭輸出量は、モンゴル国内での新型コロナウイルス感染拡大、中国側の国境検問所での防疫管理強化による閉鎖、輸送トラック通行量の上限設置などにより減少した。過去5年間の最低値となった（図1・2）。



出典：モンゴル統計庁

(2) 国境検問所の通過停滞による輸送コストの急騰

新型コロナウイルスの防疫管理により検問所での輸送が停滞したことにより、輸送コストも急騰した。Tsgaankhad ターミナルから Gantsmod 検問所までの区間では、輸送コストが前年比で急騰し（表1）、中国国内での原料炭価格が上昇傾向にあったもののモンゴル側の収益は限られていた。



出典：BlueRidge

(表 1) 輸送コスト急騰の一例

	ETT 社の 石炭販売価 格	TT 炭田～ Tsagankhad ターミナル間輸送 コスト (220km)	Tsagankhad ターミナル～Gantsmod 検問所間輸送コスト (25km)	中国国内原料 炭価格
2020 年	60\$/t	12\$/t	50\$/t	160\$/t
2021 年	100\$/t	12\$/t	300\$/t	400\$/t

出典：モンゴル石炭協会

(3) タバントルゴイ炭鉱から中国国境までの鉄道が開通

2022年9月9日、モンゴルのタバントルゴイ炭鉱から Gashuun Sukhait 国境までの鉄道（全長 233.6 km）の鉄道が開通した。モンゴル通信社とモンゴル公式データによると、鉄道開通後、モンゴルの原料炭と一般炭の輸出能力は 1,000 万 t/年から、3,000～5,000 万 t/年に増加し、石炭輸出収入が倍増する計画。タバントルゴイ炭鉱から Gashuun Sukhait 国境通過所までの輸出貨物輸送コストは 4 割弱減少させることができるという。モンゴルのフレルスフ大統領は同日開催された開所式に出席し、「これはモンゴル国の発展の道であり、投資の道であり、チャンスの道である」と述べた。

鉄道建設については、2022年2月、モンゴルのオユンエルデネ総理の訪中時に、両国政府は3つの主要鉄道プロジェクトの国境通過地点を決定した。タバントルゴイ炭鉱から Gashuun Sukhait 国境通過所までの鉄道のほか、タバントルゴイから Zuunbayan までの全長 416.1km の鉄道も 2022年3月に建設が完了。貨物輸送能力を 1,500 万 t 増加することができる。

Zuunbayan-Khangai 国境通過所方向の全長は 226km の鉄道プロジェクトは、2,000 万 t の輸出货量を目指している。

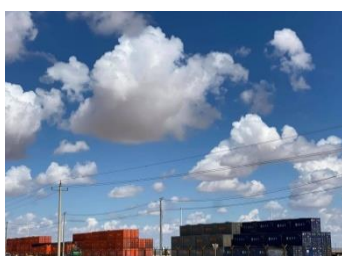


出典：中国能源網

(4) コンテナ専用石炭輸送ターミナルを導入

2021 年 9 月 21 日、Gashuunuskhati 検問所でコンテナ専用石炭輸送ターミナルの完成式が開催されモンゴルのオユンエルデネ総理が参加した。2022 年からは、Gashuunsukhait 検問所経由で輸出される石炭の約 25%が同ターミナルより輸出されている。

同ターミナルは、面積が 30ha で税関管理区域、国境警備隊のフェンスが建設され、消毒装置、長さ 40m、250t、4 台の車両の電子計量基がオペレーターのオフィスと一緒に設置された。同ターミナルの利用により輸血量がトラック輸送より 1 千万 t/年増量することが可能だという。また、Shiveekhuren-Ceke 検問所でもコンテナ専用石炭輸送ターミナルが開発され 2022 年 10 月完成。



出典：モンゴル税関公式 YouTube

#### (5) Oyu Tolgoi 案件をめぐる動向—取り巻く問題が解決

Oyu Tolgoi 案件の坑内掘り鉱山の開発コストが 14.5 億米ドル超過し、計画スケジュールが 22 ヶ月遅延したため、Rio Tinto の見積もりでは、モンゴル政府が所有している 34% に対して合計 23 億米ドルの負債が既に発生し、坑内掘り鉱山が閉山した後も 220 億米ドルの負債が残るリスクが発生していた。Rio Tinto は、地質構造の困難な状況により上記問題が発生したと説明したが、双方が世界的に認められた専門家達から構成されたワーキングチームを派遣し調査した結果、「坑内掘り鉱山の開発コストの超過、計画スケジュールの遅延」は地質構造の状況と関係していないという結論が付けられた。

双方は、2021 年、交渉を継続してきた結果、12 月 13 日、オユンエルデネ総理宛に Rio Tinto 及び Turquoise Hill Resources 社の幹部から公式な手紙により下記の交渉案が届けられ、これが承認された。

- ① モンゴル政府が所有している 34% に対する 23 億米ドルの負債を 100% 免除すること。その結果、以前に見積もられていた 220 億米ドルの負債は発生しない。これにより、Erdenes Oyu Tolgoi の 34% の株式の価値が高まり、配当を受け取るタイミングが早まる。
- ② 坑内掘り鉱山の開発及び融資計画書、坑内掘り鉱山の開発及び融資の追加計画をキャンセルする。
- ③ Oyu Tolgoi 案件の坑内掘り鉱山の開発事業の融資に対する外部検査を承認する。
- ④ 坑内掘り鉱山の採掘が開始される時期及び 2023 年上半期までの追加支出を投資家側が 100% 負担し Erdenes Oyu Tolgoi 社に追加の債務を与えない。
- ⑤ Oyu Tolgoi 社のガバナンスを改善、坑内掘り鉱山の管理を改善するための措置を講じ、相互に合意した条件に従って Oyu Tolgoi 社に関連費用を支払う。モンゴルの中央送電線網から電力を購入する契約を締結する。案件の環境、社会、ガバナンス改善に協力する。

これにより、Oyu Tolgoi 案件が無事に進む環境が整備されたことになるという。

## 2. 鉱業政策のトピックス

モンゴル政府は、2021 年 12 月 25 日、新型コロナウイルス感染症のモンゴル経済に対する悪影響を緩和し、経済における独立性の強化、「Vision2050：モンゴル国家長期開発方針」を実施する基礎条件の整備、発展の制約要因について、迅速な解決を目的として、国会に「新復興政策」を提出し、2021 年 12 月 30 日に可決された。

党政策には、モンゴルの発展を制約する 6 つの主な問題（国境検問所、エネルギー、産業、都市・地方、グリーン開発、行政効率）を解決するために、最長 10 年間にわたって実施される中期目標のプログラムを含む。

モンゴル政府は、「新復興政策」の実施により、経済成長率は長期的に平均 6% を維持し、一人当たりの国民所得は倍増し、労働力率は 65% に達する。国境検問所の通過能力を 3 倍にし、電源を 2 倍にする。モンゴルの長期開発政策「Vision-2050」の第一段階の目標と目的を達成するための基本的な条件が作成されると計画した。概要は以下のとおり。



## (1) 国境検問所の復興

- ① 国境検問所のハードおよびソフトインフラストラクチャを開発することにより、貨物および乗客の通過を増加し、輸出を増加する。
- ② 国境検問所は段階的に鉄道と舗装道路で完全に接続し、輸送と物流の競争力を向上し、貨物の流れを改善し、将来的にトランジット国になるための基本的な条件を作成する。
- ③ モンゴルの空域整備と空路利用の改善、トランジット航空機の増加、航空輸送の自由化の段階的継続により、貨物輸送のハブを形成し、観光セクターを支援する。
- ④ モンゴルの地域開発のコンセプトに基づき、経済自由区域と国境検問所を段階的に開発することにより、貿易の売上高を増加する。

## (2) エネルギーの復興

- ① エネルギー源、送配電ネットワークを新たに開発し、容量を拡大され、エネルギーの生産と供給の信頼性を向上する。
- ② 再生可能エネルギーを適切な比率で開発し、水力発電所と蓄電システムを開発し、統合エネルギーシステムの信頼性と安定性を確保する。
- ③ エネルギー部門を、独立した金融および経済システムに徐々に移管させる。
- ④ 北東アジアの統合送電網にエネルギーを供給するために、再生可能エネルギー源、超高圧架空送電線と変電所を開発するための準備を整備する。
- ⑤ 「中国向けロシア産天然ガスのモンゴル経由輸送パイプライン」の建設を強化する。

## (3) 産業の復興

- ① 鉱物ライセンスを完全にデジタル化し、コストを削減して投資を増やし、高度な技術と技術に基づく付加価値のある鉱業製品の量を増やし、鉱物資源の埋蔵量を増やす。
- ② 付加価値のある重工業を発展させ、国内の発展ニーズを満たし、輸出を増やす。
- ③ 石油の確定埋蔵量を増やし、生産量を増やすことで、石油精製所に原材料を供給する。
- ④ 農牧業を、高度な機械、技術、イノベーションに基づいて発展し、新しい製品、サービス、および生産量を増加する。
- ⑤ 農牧業の原材料と製品の資源量に合わせて加工工場の能力を高め、半製品の輸出率を下げることで、付加価値のある最終製品の輸出を増やす。
- ⑥ 科学に基づくハイテク、ブロックチェーン、人工知能を導入し、デジタル経済のトレンドに沿って産業化を発展させる。

## (4) 都市・地方の復興

- ① 首都ウランバートルの公共交通機関の質と規格を改善することにより、大容量の新しいタイプの公共交通機関を導入し、本線道路と支線道路のネットワークと道路を拡張し、更新し、高架交差点を建設し交通渋滞を緩和する。
- ② 新しい居住区、衛星都市、経済自由区の建設を強化し、ウランバートルから地方に移住した市民や企業を総合的な政策で支援することでウランバートルの集中性を引き下げる。
- ③ 県庁所在地を独立した都市に発展し、地方政府には独自の予算収入を生み出す財政的および経済的な機会を提供する。

- ④ 地域経済開発政策に基づき、畜産業と農業生産の持続的成長を支援さし、国内の食糧需要を満たし、輸出量を増やす。
- (5) グリーン開発の復活
- ① 気候変動の緩和に大きく貢献するために、「10 億本の木」-国家キャンペーンを効果的に開始し、市民、企業、組織を支援する法的環境を整備する。
  - ② 水資源を保護し、人々に保証された飲料水を提供し、牧草地に井戸を掘り、ゴビ地域の水供給を増やし、雑排水を再利用し、人工の湖と浮池を建設し、乾いた小川、泉、湿地を復元する。
  - ③ 自然環境に優しい廃棄物リサイクル工場が県庁所在地とウランバートルで地域的に設立する。
  - ④ 経済と産業化の復興政策を実施する際、自然保護の伝統的な国民的慣習を維持し、世界の開発動向に沿ったグリーン開発の標準モデルを作る。
- (6) 政府サービスの生産性の復興
- ① 政府サービスをデジタル化し、公共サービスをより簡単かつ迅速にする。
  - ② 政府の構造と組織の包括的な分析を行い、評価と結論を出し、最適な構造を決定し、政府の一部の役割を民間部門と専門家団体に移管する。
  - ③ 国家の監督と検査の重複システムを整理し、計画された検査を一時的に停止し、国家機関が必要とする特別な許可と技術条件の数を削減する。
  - ④ 国有企業の効率性とガバナンスを改善し、公共の直接管理下に置くための作業を行う。
  - ⑤ 汚職と公務員犯罪に対する処罰方針を強化する。
  - ⑥ 金融制裁機関 /FATF /によって発行されている、「マネーロンダリング対策およびテロリストの資金調達戦略が欠如している国のリスト」-/gray and black list/、欧州連合によって発行されている「税務目的のための非協力地域のリスト」に含まれないこと。また、モンゴルの信用格付けの引き下げを防ぐ。

(2022. 10. 26 北京事務所 塚田裕之)